



参加無料
要事前申込

県民カレッジ
連携講座

令和8年度

日本海学シンポジウム 「大伴家持から見た古代社会」

令和8年 10月18日（日） 13:00～16:00

高志の国文学館 研修室101（富山市舟橋南町2-22）

基調講演 13:10～14:10

「国司大伴家持の日常——文書、巡行、裁判、そして宴——」

講師：上野 誠（國學院大學文学部日本文学科教授（特別専任）／奈良大学名誉教授）
1960年福岡県生まれ。國學院大學大学院博士課程満期退学、博士（文学）。
奈良大学名誉教授、國學院大學文学部特別専任教授。日本民俗学会研究奨励賞など多数受賞。
『万葉挽歌のこころ—夢と死の古代学』（角川学芸出版2012）、『万葉文化論』（ミネルヴァ書房2018）
など著書多数。歴史学・民俗学・考古学を生かし、『万葉集』の新たな読み方を提案している。



パネルディスカッション 14:25～16:00

「大伴家持から見た古代社会」

コーディネーター：武田 佐知子（大阪大学名誉教授／日本海学推進機構会長）

東京都生まれ。早稲田大学第一文学部卒、同大学院修士課程を経て東京都立大学大学院博士課程修了、文学博士。
大阪外国語大学教授として日本古代史・服装史・女性史を研究し、衣服を手がかりに国家形成や国際関係、ジェンダー、王権論を考察。
著書に『信仰の王権 聖徳太子』（中央公論新社1993）、『衣服で読み直す日本史』（朝日新聞社1998）など。
濱田青陵賞、紫綬褒章などを受賞し、女性学研究会の組織化など教育・社会貢献にも尽力。

パネリスト：安念 幹倫（となみ散居村ミュージアム館長／砺波市立砺波散村地域研究所事務局長）

富山県砺波市生まれ。奈良大学文学部史学科卒業後、富山県教育委員会で埋蔵文化財の調査に従事し、元埋蔵文化財センター所長。
現在は散村地域研究所事務局長、となみ散居村ミュージアム館長を兼任。
考古学を通じた郷土富山の歴史紹介や、史跡・遺跡を地域活性化につなげる観光考古学の普及、散居村の調査研究に取り組んでいる。

パネリスト：上野 誠（國學院大學文学部日本文学科教授（特別専任）／奈良大学名誉教授）

パネリスト：鈴木 景二（富山大学学術研究部人文科学系教授）

神奈川県生まれ。奈良大学文学部卒。神戸大学大学院文化学研究科単位取得退学。
日本学術振興会特別研究員を経て、1996年9月に富山大学人文学部助教授となり、2006年4月に教授、
その後、組織改編をへて現職。日本古代史が専門だが、他の時代にも興味を持ち、最近は鰐寿しについて探求中。
近著に吉村武彦編『列島の東西・南北』シリーズ 古代史をひらくⅡ（共著・岩波書店2024）がある。





日本海学 シンポジウム

参加無料
要事前申込

「大伴家持から見た古代社会」

令和8年10月18日（日）13:00～16:00 高志の国文学館研修室101

「日本海学」とは？

日本海学は、日本海とその周辺および関連地域全体を、生命の源である海を共有する一つのまとまりとしてとらえ、海との関わりを軸にその自然・文化・歴史・経済などを総合的に研究し、新たな領域を創成するとともに、地域間の交流を促進し生命の輝きが増す未来を構想する取り組みです。

お申込み方法 期限：令和8年10月14日（水）まで

お申込みフォーム、メール・電話、FAXいずれかの方法でお申込みください。

●お申込みフォーム●



●メール・電話●

氏名、連絡先
（電話番号・メールアドレス）
を明示のうえ、
下記お問い合わせ先まで
お申込みください。

●FAX●

FAXで申込みされる方は、下記に記入の上送信してください。

氏名：_____
電話番号：_____
メールアドレス：_____

令和8年度 日本海学講座

【第1回】

日時：令和8年11月15日（日）13:30～15:30

会場：高志の国文学館 研修室101

テーマ：「海を渡った日本語—日本海および南洋、南米に注目して—」

講師：中井 精一 氏（同志社女子大学表象文化学部日本語日本文学科教授）

ダニエル・ロング 氏（東京都立大学人文社会学部人間社会学科教授）

【第2回】

日時：令和8年12月12日（土）10:00～12:00

会場：高志の国文学館 研修室101

テーマ：「富山湾のさかなの未来を語る—変わりゆく海と漁業、地域のこれから—」

講師：稲村 修 氏（魚津水族館アドバイザー・元館長）

大屋 進之介 氏（東京海洋大学応用環境システム学専攻博士後期課程2年）

申込み方法等詳細は
日本海学HPで
ご案内します。

お問い合わせ先

〒930-8501 富山市新総曲輪1-7 日本海学推進機構事務局（富山県多文化共生推進室内）

TEL：076-444-3156 FAX：076-444-9612 Email：adm@nihonkaigaku.org

🔍 日本海学

